



連 合 取
鳥 取

中部地協ニュース

No.4 2016.6.1

発行責任者 鈴木和夫

編集責任者 山田秀之

日本労働組合総連合会 鳥取県連合会 中部地域協議会
〒682-0804 倉吉市東昭和町 286-2 TEL23-7205 FAX23-7206

福島浩彦さんと意見交換

中部地協は5月10日(火)夕方、倉吉未来中心セミナー1において、単組代表者・女性組合員・青年組合員33人が福島浩彦さんと意見交換を実施した。

まず、主催者を代表して鈴木和夫中部地協議長が「今日参加していない組合員へ是非、福島さんの考え・人柄を伝えて欲しい」と挨拶。民進党鳥取県連からは湯原俊二副代表が政治情勢にも触れ連帯の挨拶を頂いた。



鈴木議長



湯原副代表

基調報告では福島浩彦さんが現状の国のあり方に疑問を感じてそれを変えるには地方から変える必要があるという持論から始まった。それはアベノミクスで格差拡大する経済政策、地方創生では人口減少の中での人の奪い合いは自治体をつぶす政策であり国の方針に沿った戦略にしないと交付金が交付されない、一括交付金のように自治をベースに地域にあった戦略をつくることに国は援助すべきである。また、TPPや安保法制等、多岐にわたり暴走する安倍政権への問題点を熱く語って頂いた。



熱く語る福島浩彦さん

参加者はそれを受けて単組代表者、女性組合員、青年組合員のグループに分かれて、福島さんへの質問・日頃感じている不平・不満の制度などについて討議を行った。

その内容を紙に書いて模造紙に貼り、参加者全員から福島さんに様々な意見・質問が寄せられた。



熱の入ったグループ討議



その中で4項目について答弁する形で意見交換とした。まず1点目は、教育費が高い問題、2点目はアメリカ共和党トランプ候補の発言で「沖縄米軍基地撤退」について、3点目は18歳選挙権について、最後に女性の活躍促進についてであった。

福島さんは、①世界の主流は給付型奨学金となっているので、無駄を省いて教育費に充てるべきだ。②アメリカが一方的に日本を守っているのではなく、米軍の軍事戦略の中にある基地なのでそう簡単ではない、③18歳だから能力が無いとは思わない。大人でも考えのない人は居る、④形式的な事ではなく、ワークライフバランスを確立して豊かな生活をするをを目指すべき。

最後に坂本浩憲副議長が、「分かりやすく説明頂いた。何事も皆が団結して取り組まなくてはならない。本音が聞ける良い機会となった」とまとめた。

平和学習 in 沖縄

連合鳥取は、独自で5月19日(木)から21日(土)にかけて「沖縄の平和問題」について、現地で実態を知るために、本川会長を筆頭にした8人が参加しました。

初日は、宜野湾市役所基地渉外課の佐久川さんの説明で基地の概要、市民からの苦情の状況や基地が存在するため消防署を増設しなければならないと説明して頂いた。

二日目は、沖縄戦最大激戦地となった嘉数高台、名護市辺野古新基地予定地、キャンプシュワブ前の抗議テント村を車窓から見学、チビチリガマなど戦争の歴史と現状を確認しました。

夕方は、元読谷村副村長(元委員長)池原さん宅で同村職労の役員と交流しました。宜野湾市役所屋上から視察

